令和２年 10 月 22 日
東　京　大　学

東京大学生産技術研究所千葉実験所跡地の土壌汚染調査結果及び対応について

本学生産技術研究所千葉実験所跡地（以下「跡地」という）において、土壌汚染対策法（以下「法」という）に基づき、土壌汚染調査を行ったところ、一部の土壌から法に定める指定基準を超える特定有害物質（ふっ素・砒素・ほう素・水銀・鉛・カドミウム及びその化合物・六価クロム化合物）が下記表のとおり検出されたため、千葉市に報告を行うとともに、現在、詳細な調査・分析を行っているところです。

この度、千葉市から 10 月 22 日付で跡地の一部が法第６条の「要措置区域」および法１１条の「形質変更時要届出区域」に指定されました。

【千葉市告示第 836 号】

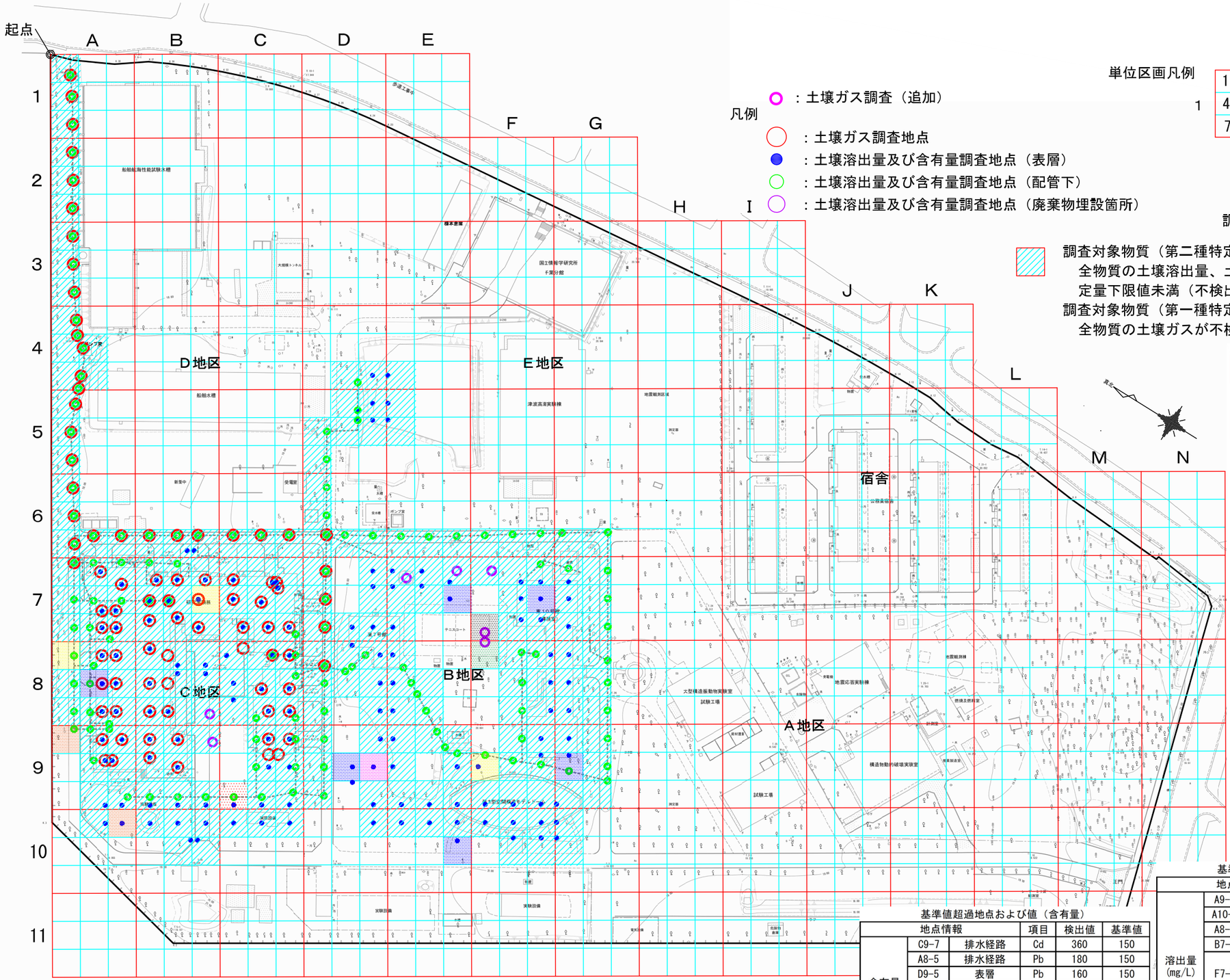
https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/kankyokisei/documents/r2kokuji836.pdf

今後、本学は法及び関係行政機関の指導等に基づき適切な対処を行うとともに、対応状況等を逐次公表してまいります。

	項目（検出物質）	最大値	基準値
溶出量（mg／l）	砒素　（As）	0.044	0.01
	ふっ素　（F）	2.7	0.8
	カドミウム（Cd）	0.92	0.01
	六価クロム（Cr+6）	0.45	0.05
	ほう素　（B）	4.9	1
	水銀　（Hg）	0.0015	0.0005
	アルキル水銀（R-Hg）	不検出	検出されないこと
含有量（mg／kg）	鉛　（Pb）	320	150
	カドミウム（Cd）	360	150

※調査地点及び検出地点については、別紙を参照下さい。

別紙



凡例

- ：土壌ガス調査（追加）
- ：土壌ガス調査地点
- ：土壌溶出量及び含有量調査地点（表層）
- ：土壌溶出量及び含有量調査地点（配管下）
- ：土壌溶出量及び含有量調査地点（廃棄物埋設箇所）

単位区画凡例

	A		
1	1 2 3	10m	30m
	4 5 6	10m	
	7 8 9	10m	

例）A1-5

調査結果

調査対象物質（第二種特定有害物質）
全物質の土壌溶出量、土壌含有量が、基準以下、又は定量下限値未満（不検出）であった区画、及び
調査対象物質（第一種特定油外物質）
全物質の土壌ガスが不検出であった区画

- 砒素及びその化合物（土壌溶出量）が基準超過であった区画
- ふっ素及びその化合物（土壌溶出量）が基準超過であった区画
- 水銀及びその化合物（土壌溶出量）が基準超過であった区画
- 鉛及びその化合物（土壌含有量）が基準超過であった区画
- 六価クロム化合物（土壌溶出量）が基準超過であった区画
- 六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ほう素及びその化合物（土壌溶出量）が基準超過であった区画
- カドミウム及びその化合物（土壌含有量）が基準超過であった区画

基準値超過地点および値（含有量）

地点情報			項目	検出値	基準値
含有量 (mg/kg)	C9-7	排水経路	Cd	360	150
	A8-5	排水経路	Pb	180	150
	D9-5	表層	Pb	160	150
	E7-6	表層	Pb	190	150
	E10-6	表層	Pb	320	150
	F7-6	表層	Pb	230	150
	G9-4	表層	Pb	170	150

基準値超過地点および値（溶出量）

地点情報			項目	検出値	基準値
溶出量 (mg/L)	A9-1	排水経路	As	0.044	0.01
	A10-3	表層	As	0.040	0.01
	A8-1	排水経路	F	0.84	0.8
	B7-6	表層	F	2.2	0.8
	F7-7	廃棄物埋設	Cd	0.92	0.01
		廃棄物埋設	Cr^{6+}	0.45	0.05
		廃棄物埋設	B	4.9	1
	F8-1	廃棄物埋設	Cr^{6+}	0.18	0.05
	F9-4	表層	F	2.7	0.8
	D9-6	表層	Hg	0.0015	0.0005